

～日本のユース世代と共に世界へ～

ユース水フォーラム2025

ご協賛概要

2025年6月18日 日本水フォーラム（認定NPO法人）

ビジョン：ユースが国内外の流域社会の一員となり、地域のまちづくりに社会的インパクトをもたらす

(1) 初年度の経緯・実績：人材育成・啓発事業「ユース水フォーラム」を開始

2021年3月22日(国連「世界水の日」)に、「ユース水フォーラム・九州」を発足。九州地方8県の高校生世代に動画制作を通じてご参加頂くプラットフォームとなることを目指し、活動を開始。[第4回アジア・太平洋水サミット](#)の熊本での開催(2022年4月)を契機に、その関連事業としてスタートしました。動画応募16校30作品。内8校が同サミットに公式参加。



(2) 2022年度の実績：日本全国の高校生世代が集うプラットフォームへ

- 動画募集対象を日本全国に拡大(動画応募22作品。2か年合計52作品)
- [雄物川流域\(秋田県\)にてエクスカーションを実施](#)、教材配布(参加者16名)
- [シンポジウム『水未来会議2023』を開催](#)(2023年2月、参加者約200名(オンライン含))
- [国連水会議に公式参加](#)(UN Water Conference 2023、2023年3月、NY国連本部)



(3) 2023年度の実績：海外の高校生世代にもアプローチを開始

- 動画応募33作品。3か年合計85作品
- [国際交流イベント「ユース水フォーラムアジア」初開催](#)(2023年11月、参加者約120名)
- 第10回世界水フォーラム(世界最大級の水関連国際会議。2024年5月、インドネシア・バリ)への参画を準備



(4) 2024年度の実績：初の海外応募を実現、国際的なネットワークを拡大

- 動画応募24作品。4か年合計109作品
- [第10回世界水フォーラムに公式参加](#)、(2024年5月、インドネシア・バリ、セッション2件実施ほか)
- [シンポジウム『水未来会議2024』を開催](#)(2024年8月、参加者約80名(オンライン含))
- [国際交流イベント「ユース水フォーラムアジア2024」を開催](#)(2024年11月、韓国国際水週間の公式プログラムとして実施、韓国・大邱市)

日本全国と世界で、動画募集や多世代アプローチの更なる普及を目指します

<2025年度(5年目)の活動予定>

- 高校生世代の皆さんに、短編動画(英語、3分)を制作し応募して頂く(募集期間:2025年6~12月)
- シンポジウム『水未来会議2025』を開催(2025年8月2日、都内+オンライン)
- 国際交流イベント「ユース水フォーラムアジア2025」を開催(2025年度9月開催予定)
- 国連水会議2026(2026年12月、UAE)への参画準備を開始
- 第11回世界水フォーラム(2027年3月、サウジアラビア)への参画準備を開始

<中期目標案(2024~2026)>

- ユース水フォーラムを高校生世代をはじめとした若手のプラットフォームとして発展させる
- 将来SDGsを実現する国際人材を育成・輩出する
- 国内外の流域社会における若者の意義ある参画(MYE: Meaningful Youth Engagement)の実現を図る



お申込受付：2025年7月1日～同年10月31日 ご協賛期間：ご協賛開始～2026年3月末日

ご協賛特典／ご協賛金額(消費税別)	10万円	50万円	100万円	500万円(1社、ご成約済)
① 公式ウェブサイトへのロゴ・社名掲載 (2026年度の動画募集開始迄)	○	○	○	○
② プレスリリースへの社名掲載	○	○	○	○
③ 年次報告書へのロゴ・社名掲載(2026年6月末発行予定)	○	○	○	○
④ 動画制作の手引き(教材)にロゴ・社名掲載 (2025年度、通年公表)	—	○	○	○
⑤ シンポジウム「水未来会議2025」開催告知媒体にロゴ・社名掲載 (2025年8月2日 開催予定)	—	○	○	○
⑥ 国際交流イベント開催等の告知媒体にロゴ・社名掲載 (2025年9月開催予定)	—	—	○	○
⑦ 「ユース水フォーラム」公式写真使用权	—	—	○	○
⑧ 「ユース水フォーラム2025」冠スポンサー権 「ユース水フォーラム2025」募集チラシ(日英)へのロゴ掲載 「水未来会議2025」:発表会ゲストコメンテーター・交流会での貴社PR	—	—	—	○

※ご寄付も承ります(税制優遇対象)。詳細は、別途お問い合わせください
※ご協賛開始時期により、製作等日程が終了した特典はご提供できない場合がございます。予めご了承ください
※冠スポンサー権はご成約済みです。今後のご予約等についてはお問合せください

① 公式ウェブサイト (日英)



① 公式ウェブサイト 日英TOPページ協賛エリアに掲載します
日本語ページ(左図) <https://www.waterforum.jp/ywf/>
英語ページ <https://www.waterforum.jp/ywf/en/>

- ✓ ご協賛者様ロゴ掲載エリアを開設
- ✓ ロゴを掲載させて頂くとともに、
- ✓ 貴社ウェブサイトへのリンクも設置いたします
- ✓ 掲載期限: 2026年度の動画募集開始まで

動画募集受付終了後、この
エリアはクローズいたします。

←ご協賛者様ロゴ掲載エリア
掲載イメージ→



② プレスリリース ③ 年次報告書



2024年7月31日

報道関係各位

【取材のご案内】

高校生世代と共に、水問題の未来を語る！

シンポジウム「水未来会議 2024」

2024年8月10日（土）14:30～17:00（14:00開場） 内田洋行新川本社



特定非営利活動法人日本水フォーラム（東京都中央区、代表理事：竹村公太郎）は、来る8月10日（土）、株式会社内田洋行新川本社「ユビキタス協創広場 CANVAS」（東京都中央区新川2丁目4番7号）にて、シンポジウム「水未来会議 2024」を開催します。

当シンポジウムは、第4回アジア・太平洋水サミット（2022年4月、横浜市）の開催を機に、2021年度から新たに開始した人材育成・啓発プログラム「ユース水フォーラム」の活動の一環です。昨年2023年2月に続き、開催2回目となるシンポジウムです。

昨年度の動画応募者を代表する高校生をはじめ、水に仕事する社会人などが登壇し、水問題の未来について、世代を超えて語り合います。高校生による、第10回世界水フォーラム（2024年5月、インドネシア）の現地参加報告も予定しています。

つきましては、ご多用のところと存じますが、当シンポジウムを是非取材頂きたい、ご案内申し上げます。現地取材頂けず場合は、お席に限りがございますが、取材申込書に必要事項を明記の上、8月8日（木）17:00までにメールにてお知らせくださいようお願い申し上げます。

② プレスリリース例（2024年7月31日実施）

左図、<https://www.waterforum.jp/pdf/cdar/ywf22-20230204-press.pdf>

- ✓ 発表資料にご協賛者様社名を掲載いたします
- ✓ プレス実施の予定（現時点での予定です）
 - ・水未来会議2025開催数週間前（2025年7月）
 - ・ユース水フォーラムアジア2025開催1か月前



③「ユース水フォーラム」 実施報告書例（2024年5月発行）右図、<https://www.waterforum.jp/ywf/files/YWF2023-report.pdf>

- ✓ 2024年度については、間もなく発行予定
- ✓ 2025年度については、2026年6月末発行予定
- ✓ デザイン・仕様等は右図のようなイメージを予定しています



④手引き (教材) ⑤シンポジウム開催告知 ⑥国際交流会開催告知

④動画制作の手引き(教材)コンテンツイメージ、左下
公式Instagram(<https://www.instagram.com/youthwaterforum/>)で投稿中
PDF版も近日発行予定

⑤シンポジウム「水未来会議2024」開催告知バナー、下

⑥国際交流会「ユース水フォーラムアジア2024」開催告知例、右
<https://www.waterforum.jp/news/22387/>



2024.8.18
11月15日(金)にアジア地域の高校生が参加する『ユース水フォーラムアジア2024』を開催します



日本水フォーラムは、2024年11月15日(金) 13:00より、韓国・大邱にて、水をテーマとしたユース世代の国際交流イベント「ユース水フォーラムアジア2024」を開催します。

本イベントは、2022年4月に熊本で開催された第4回「アジア太平洋水リミット」を契機にスタートした人材育成・啓発プログラム「ユース水フォーラム」の活動の一環です。「2023年11月の熊本での「ユース水フォーラムアジア」」に続いての開催となります。

2023年11月に熊本で開催された「ユース水フォーラムアジア」では、日本、韓国、インドネシアの高校生が参加し、各々の水問題やその取り組みを発表しました。また、専門家を交え、世界の水問題解決に向けた協力についても活発な議論が行われました。

「ユース水フォーラムアジア2024」では、参加する各国の高校生世代が、それぞれの地域が抱える水問題や解決に向けた活動を発表し、意見交換を通じてグローバルおよびローカルな水問題に対する協力を促進することを目的とします。

「ユース水フォーラムアジア」は、2023年3月に熊本で開催された「水未来会議2023」の公式セッション「ユースセッション」- ロールプレイ、グローバルリンク、持続可能な水管理のための世代間パートナーシップの構築 - により、2024年5月にインドネシア・バリで開催された第10回世界水フォーラムの公式セッション「健全な水環境に資するための世代間協力の促進」の成果を継ぎ、さらに発展させるためのフォローアップイベントとして位置づけられています。

開催概要
日時: 2024年11月15日(金) 13:00 - 16:00
場所: 韓国・大邱市, Daegu EXCO(予定)
主催: 特定非営利活動法人 日本水フォーラム、韓国水フォーラム



ユース水フォーラム ご協賛:



【世界水フォーラム概要】

- ・世界中の水に関する関係者が一堂に集い、水に関わる様々な問題への対処について議論。
- ・参加者は、各国元首・閣僚級を含む政府機関、国際機関・企業・NPO等
- ・3年に1度、世界水の日(3月22日)前後に開催
- ・主催は、WWC(世界水会議※)及び開催国

※世界水会議(水分野の専門家や国際機関の主導のもと1996年に設立された国際NGO)

【これまでの日本の参画状況】

国連「水と衛生に関する諮問委員会」名誉総裁を務めておられた皇太子殿下のご臨席、日本水フォーラム会長(元総理)の総理特使としての出席、大臣級(国交、環境等)のご参加をはじめ、学术界・民間企業・NGOなど参加多数。

日本の実績や強みをアピールし、日本の存在感を国際社会に示す上で大きな効果を上げている。

【開催状況(開催地・参加国・参加者数)】

主催国発表 ※登録者数

第1回(1997)モロッコ	63カ国	500人
第2回(2000)オランダ	114カ国	0.6万人
第3回(2003)日本	183カ国	2.4万人
第4回(2006)メキシコ	168カ国	2.0万人
第5回(2009)トルコ	192カ国	3.0万人
第6回(2012)フランス	173カ国	3.5万人
第7回(2015)韓国	168カ国	4.0万人
第8回(2018)ブラジル	172カ国	1.0万人※
第9回(2022)セネガル	未発表(コロナ禍)	
第10回(2024)インドネシア	160カ国	2.0万人※
第11回(2027)サウジアラビアにて開催予定		



閣僚級会合イメージ



皇太子殿下ご講演(第8回)